

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

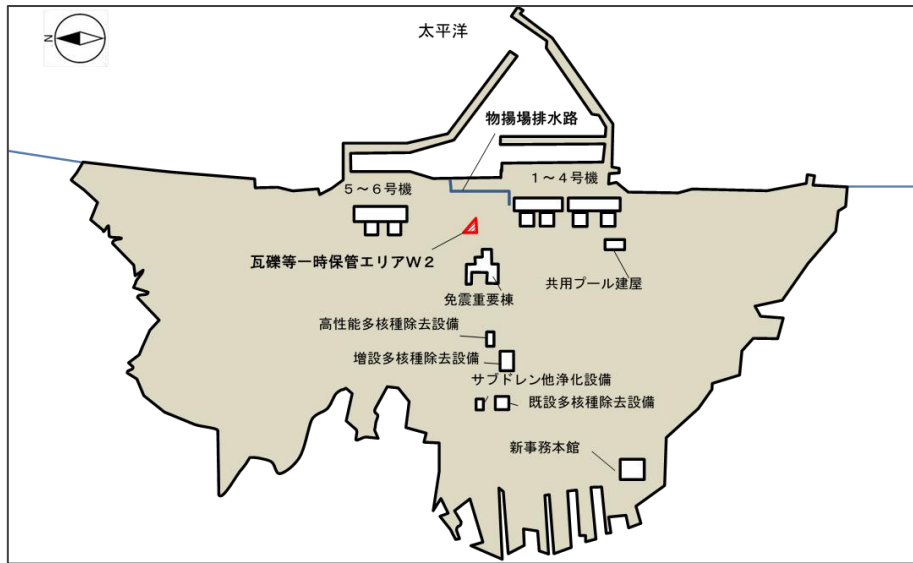
- 1 確認日  
令和3年3月29日（月）
- 2 確認箇所  
瓦礫等一時保管エリアW2
- 3 確認項目  
物揚場排水路の簡易放射線検知器における「高警報」発生に伴う原因調査

### 4 確認結果の概要

3月2日、物揚場排水路に設置されている簡易放射線検知器（以下、「P S F モニタ」という。）において「高警報」が発生し、全ベータ放射能が高い（全ベータ放射能：890Bq/L）排水が観測された事象について、東京電力が当該排水路の流域を調査したところ、3月22日に瓦礫等一時保管エリアW2で放射線量率が高いゲル状物質が確認された。その後、3月24日にゲル状物質が回収され、周辺の地上面上への除染材の塗布、シート養生、土のうの設置が実施されていた。（前回確認：[令和3年3月26日](#)）。

3月28日15時頃から3月29日7時頃にかけて、降雨（浪江局アメダス累計降水量26mm）があったことから、当該エリアの状況を確認した。（図1）

- ・当該エリアには降雨による水溜まりが数カ所確認されたが、シート養生等に異状は見られなかった。また、確認した範囲で新たに放射線量率が高い箇所は確認されなかった。（写真1）
- ・東京電力によると、今後、準備が出来次第、当該地点周辺の地表面のはぎ取りを実施するとのことであった。
- ・研修棟南東側にコンテナが4基保管されており、コンテナ表面が腐食していた。当該コンテナの保管エリア名、内容物及び今後の取扱いについて東京電力へ確認している。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
瓦礫一時保管エリアW2  
(北東側から撮影)



(写真2)  
研修棟南東側に保管されているコンテナ

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。